

Rotary



2024-25年度 国際ロータリーテーマ
『ロータリーのマジック』
The Magic of Rotary



2024-25 RI会長 ステファーン・アーチェック
RI 2820地区ガバナー 大高 司 郎

Hasaki Rotary Club Weekly



No.2231号 2024年9月26日発行
基本的教育と識字率向上月間

例会プログラム

- | | |
|-----------|------------|
| ・点 鐘 | ・幹 事 報 告 |
| ・国 歌 斉 唱 | ・委 員 会 報 告 |
| ・ロータリーソング | ・ニコニコ・財団報告 |
| ・RIテーマ唱和 | ・出 席 報 告 |
| ・ビジター紹介 | ・卓 話 |
| ・会長あいさつ | ・点 鐘 |

創立：1978年2月23日
 加盟：1978年4月14日
 例会場・事務所：神栖市商工会波崎支所
 〒314-0343 茨城県神栖市土合本町5丁目9809-527
 電話 0479(48)0333

例会日：毎週木曜日 12時30分～13時30分

○会 長	西 條 健 一
○会長ニレト兼副会長	安 藤 寿 博
○幹 事	遠 藤 貴 之
○副 幹 事	高 橋 佑 至

第2230(10回) 例会報告

令和6年9月19日(木)晴れ
進行：才賀副SAA

本日のお客様:なし

◇ 会長あいさつ西條(健) 会長

まだまだ暑い日が続いてますが、皆様お体に気を付けていきましょう。来週には秋らしくなると天気予報で言っていたのでもう少しです。

ニュースでポケベルやトランシーバーが爆発という言うのを聞いて、怖いなと思いました。もしこのスマホがと思ったら大変な事とですよ。話は変わって昨日、大谷が48号ホームランを打って、今日49盗塁を決めて、50-50に近づきました。改めてすごいなと思速く達成してもらいたい気持ちでいっぱいです。

先週も伝えましたが、朝市をみんなで協力して行いたいと思いますので、宜しくお願い致します。



◇ 幹事報告遠藤幹事

1. 10月27日にポリオのキャンペーンが笠間稲荷神社で開催されます。多くのみなさまのご参加をお願い致します。

2. 地区大会開催のご案内

・大会1日目 11月9日(土) 13時登録 14時点鐘

ホテル テラス ザ スクエア日立

・大会2日目 11月10日(日) 8時登録 9時点鐘

日立市池の川さくらアリーナ

あらためてご案内申し上げます。



◇ 委員会報告

○ 朝市委員会高橋委員長

朝市実行委員会より報告致します。

例会を休会してましたが、地区へのチラシ配布を才賀会員、篠塚会員に行っていただきました。

また、休会中に話が進んでおりました学校関係について報告致します。前々回の例会後、波崎一中、波崎四中それぞれへ会長と朝市への生徒のボランティア依頼をして参りました。返答としては、部活動の地域移行に伴い、平日以外は先生・学校が生徒へ関与することができなくなっ

たため、難しい問題となったそうです。



ただ、地域へのボランティア活動を前向きに両校・教育委員会が相談をしてくださり、ポリオの広報PR活動への参加なら出来るのでは？となりました。例会後、再度両校へお願いに参ります。

出店者についても触れさせていただきます。案内をお送りした事業者の皆さんからは、ほぼご返事を頂いておりますが、もっとお声かけをお願いします。食品以外のジャンルでも出店できます。もっともっと多くの皆さんと盛り上げられるようにしていきたいので、くどいようですが重ねてお願いします。案内文・出店要項・返信用出店文についてはグループLINEに投稿しておきますのでご自由にお使いください。メールでもお送りできますのでお声かけください。

◇ 卓話

- 基本的教育と識字率工場月間 ……………後藤委員長
当クラブではこのテーマで十数年活動をしてきましたが、コロナ禍によりストップしました。

字が読めないという事は、生活するのに知識も入らず、だまされやすくなります。又、仕事に就くこともできません。

ではなぜ学校に行けないのでしょうか。

学校がない、学校があっても遠くて通えない、遠くまで水汲み、薪拾いをしなければならない、弟、妹のおもりをしなければならないなどがあります。そこでネパールの山の上プロパーカル村カカニン高等学校建設及び教育支援を5か年してきました。

次にカンボジア教育支援、古着支援を5年間しました。

支援に頼らず、自力での自立を目指すことの重要性にきずき始めたとおもいます。



◇ 3分間スピーチ 夏の思い出

- 遠藤会員

スピーチの指名を受けてスケジュールを改めて確認してみると残念ながら旅行などの予定はありませんでした。

8月中旬からは地震注意、台風警戒など出かける機会を作ることができず災害警戒が夏の思い出でした。

今年は叔父の新盆に親戚や家族が集まり近況報告やいろいろな話があり思い出にふける夏休みでした。

家族の思い出は娘2人がともにパートナーとともに帰郷し6人で焼肉を食べたのがこの夏最大の出来事でした。子供だと思っていた二人が社会人として多くの人に出会い成長していることが驚きでもあり子供たちの出会った人々に感謝する思い出でした。

18歳で親元を離れて親が教えることが出来なかったことを身につけている大人になった娘との楽しい夏でした。



- 安藤(寿)会員

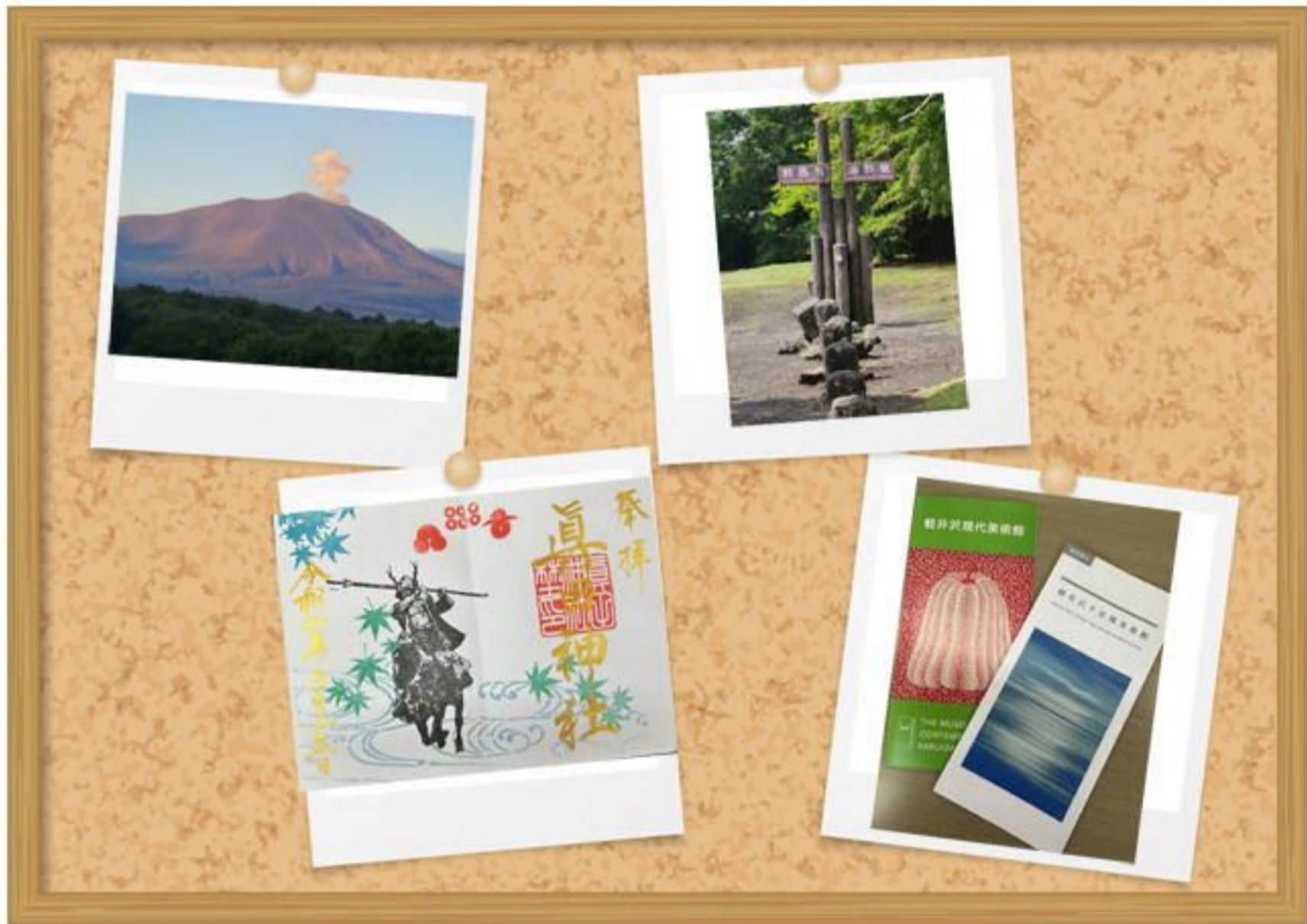
9月になっても連日の猛暑が続いておりますが、13日と14日の2日間で、避暑地軽井沢に行ってきました。鉾田インターから上田まで行き、先ず上田城址公園を散歩して真田神社を参拝しました。御朱印も頂いてきましたが迫力のある御朱印でした。



お昼を小諸にある、マンズワイン小諸ワイナリーで食べようと寄ったんですが、個人で利用できるレストランは無く当てが外れてしまいました。

2日目は千住博美術館で「ウォーターフォール」中心とした作品を鑑賞し、軽井沢現代美術館では作品と一緒に写真を撮ることが許されていますので、記念に草間彌生の作品をバックに写してきました。また旧軽井沢の奥に熊野神社があり一つの神社に長野県側の熊野皇大神社、群馬県側の熊野神社がありました。近くの見晴らし台も県境のため長野県側群馬県側に分かれていました。

以後、帰路につきましたが満足した2日間でした。



◇ 安全な水の供給が多くの恩恵を村にもたらす

ムセキワとムシャキの住民に限らず、ジンバブエでは水を当たり前にあるものとして使う人はいません。首都ハラレから約160キロに位置するこの二つの村は、水不足による大きな影響を受けています。つい最近まで、多くの住民は毎日5キロ以上歩いて水を汲みに行っていました。

「人びとは井戸や川から水を得ていた」と、ムシャキの議員であるトライモア・タファズワ・カバンダさんは話します。

この状況が変わったのは、数千キロも離れた二つのロータリークラブが補助金プロジェクトで協力することを決めたときでした。2020年、米国カリフォルニア州のセントヘレナ・ロータリークラブの会員たちは、ジンバブエで育った妻をもつゲストスピーカーから、同国の村々が置かれた状況について学びました。90%以上の世帯が農業を主な生計手段としているジンバブエで、気候変動が降雨量に壊滅的な影響を及ぼしていることを知ったのです。ジンバブエの降雨パターンは、ここ20年で大きく変化しました。

かつて雨季は10月から3月まで続きましたが、今では12月下旬まで始まらないこともあります。「人びとはひどい水問題を抱えていました」と、セントヘレナ・ロータリークラブの元会長であるジョン・マールナーさんは振り返ります。「ほとんどの場合、女性たちは毎日何キロも歩いて水を運んでいました。行ったとしても水が得られなかったり、得られた水が汚染されていたりすることもしばしばでした」

セントヘレナのロータリアンは、地域社会調査を実施したハラレCBDロータリークラブ（ジンバブエ）に連絡を取りました。その後、両クラブは資金を集め、ロータリー財団のグローバル補助金を申請しました。82,000米ドルのプロジェクト計画では、二つの井戸を掘り、太陽光発電ポンプと水の配管システムを設置し、住民を対象に設備の維持管理についての研修を行い、衛生の重要性に関する教育キャンペーンを実施することが予定されました。

このプロジェクトは簡単そうに見えましたが、完了までに1年以上を要しました。最初の障壁は役所との手続きでした。

「プロジェクトを始める前に、必要な認可を得るためにさまざまな役所と連絡を取ることが極めて重要」だと、ハラレ・ロータリークラブの元会長であるアントニー・マツィカさんは話します。「四つのレベルの承認を受ける必要がありました。州開発調整官、地区開発調整官、農村地区評議会、そして最後とはいえ重要なのは、その地域の首長です。これらのさまざまな利害関係者を通さなければ、プロジェクトを成功させることはできませんでした」

作業が始まると、クラブは予想もしなかった問題に直面しました。掘った井戸の一つが水脈に当たらなかったのです。

「ジンバブエで掘削を行うには二つの方法があります。掘削業者に掘削場所を指示し、その穴から何も出てこなければ別の場所での掘削費用を負担する。それが一つの方法です」。そう話すのは、米国カリフォルニア州のサンタローザ・ロータリークラブ（米国カリフォルニア州）の会員で、このプロジェクトに携わったダン・バルフさんです。「ウェットホール、つまり水の出る穴を掘削することを保証する契約をすべきでした。私たちにとって これは教訓となりました。結果として、新たに資金集めをしなければなりませんでした」

最終的に、村の人びとは水を手に入れることができました。現在、セントヘレナとハラレの両クラブは、この地域のさらに二つの村を支援するため、2回目の補助金プロジェクトを計画しています。このような取り組みには、まだ多くのニーズがあります。世界保健機関（WHO）の推計によると、水や衛生設備が不十分なために毎年140万人が命を落としています。安全な水を手に入れることは、しばしば驚くような形で人びとに影響を与えます。

「水は、ロータリーのすべての重点分野に関連している」と話すのは、水と衛生のロータリー行動グループのメアリーベス・グローニー・セリーン委員長です。「水が得られれば、子どもたちは川に水を汲みに行くために学校を休む必要もありません。親も水汲みに時間を割く必要がないため、経済的な生産性が高まります。水を起因とする感染症にかかる人も少なくなります。すべては水から始まるのです」

ムシャキとムセキワでは確かにそうでした。「今では、ほとんどの村人は水を汲みに何キロも歩く必要がありません」とカバンダさん。「また、コレラのような病気も防げるようになりました」

カバンダさんとロータリー会員は、新しい井戸のおかげで、川の水に含まれる細菌が原因となるコレラの流行からムシャキとムセキワの人びとは守られていると信じています。地元の病院によると、これらの村からはコレラ患者が出ていません。

「これはおそらく、私たちのプロジェクト、つまり安全な水が供給されたおかげだということです」

ロータリークラブHPより

◇ 出席報告 後藤出席委員長

例会	項目	会員総数 (名誉会員を除く)	出席計算に 用いた会員数	出席または メイクアップ会員数		出席率(%)
				出席	メイク	
第1例会		15会員	15会員	出席: 12	メイク: 12	160.00%
第2例会		15会員	15会員	出席: 10	メイク: 7	113.33%
第3例会		15会員	15会員	出席: 10	メイク: 0	66.66%
第4例会		15会員	15会員	出席:	メイク:	
9月度平均						

9月度出席表 出席:○ 欠席:/ M+数字:メイクアップ回数 出席免除:免

会員名	5日	12日	19日	26日	出席数	M数	会員名	5日	12日	19日	26日	出席数	M数
安藤 信一	/	/	/				藤代 広樹	/	○	○			
安藤 寿博	○M2	○M1	○				山本 英雅	○	/	/			
井口 球太	○	○M1	/										
泉 純一郎	○M1	○M1	○										
遠藤 貴之	○	/	○										
金子 大作	/M2	○M1	○										
後藤美紀代	○M1	○	○										
才賀 秀樹	○M1	○	○										
西條 健一	○M1	○	○										
西條 昌良	/	/	/										
篠塚 茂男	○M1	○M1	/										
菅谷 昭夫	○	○M1	○										
高橋 佑至	○M2	/M1	○										

メイクアップ

◇ ニコニコBOX報告 才賀親睦委員長

遠藤貴之 卓話宜しくお願ひします ¥2,000

後藤美紀代 卓話宜しくお願ひします ¥2,000

ニコニコBOX	4,000円
コインBOX	1,110円
ビジター(0件)	0円
合計	5,110円

ニコニコBOX	
1週	14,000円
2週	0円
3週	4,000円
4週	円
月計	18,000円
累計	98,000円

コインBOX	
1週	1,170円
2週	1,140円
3週	1,110円
4週	円
月計	3,420円
累計	15,320円

9月の予定 26日 神栖市出前セミナー